

知床五湖地区における取組の進捗状況

トピック

1. 5月10日から7月31日までのヒグマ活動期は、ヒグマ出没回数が減少し、遭遇回数は13回（うちツアー中止判断3回）（前年56回（うちツアー中止判断38回））であり、地上遊歩道の立入人数は10,318名（登録引率者を除き8,946名、前年比19%増）であった。
2. 8月1日から10月20日までの植生保護期においても、ヒグマ出没回数が減少し、遭遇回数は5回（前年34回）であり、地上遊歩道閉鎖日数は例年並みに少なかった。このため、地上遊歩道の立入人数は58,889人（前年比80%増、前々年比11%増）であった。
3. 協議会において知床五湖利用適正化計画の改定について協議し、ヒグマ活動期における適正な範囲での利用者の増枠、限定的な2ルート併用が承認され、現在関係する告示手続き中である。

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・平成25年4月19日から10月20日において、知床五湖利用調整地区制度を運用した。
- ・開園の4月19日から5月9日の植生保護期は、例年になく積雪のため、4月28日から地上遊歩道は閉鎖となり、期間中の地上遊歩道の利用者は計173名（前年比95%減）であった。
- ・5月10日から7月31日までのヒグマ活動期は、ヒグマ出没回数が減少し、遭遇回数は13回（うちツアー中止判断3回）（前年56回（うちツアー中止判断38回））であり、地上遊歩道の立入人数は10,318名（登録引率者を除き8,946名、前年比19%増）であった。
- ・8月1日から10月20日までの植生保護期においても、ヒグマ出没回数が減少し、遭遇回数は5回（前年34回）であり、地上遊歩道閉鎖日数は例年並みに少なかった。このため、地上遊歩道の立入人数は58,889人（前年比80%増、前々年比11%増）であった。
- ・制度期間中のヒグマ遭遇による地上遊歩道閉鎖は、ヒグマ活動期に3回（前年度38回）あり、ヒグマ起因による地上遊歩道の終日閉鎖日は0日間（前年は20日間）となった。ヒグマとの危険な遭遇事案は発生しなかった。
- ・ヒグマ活動期においては、利用者の増枠実験（全期間）、2ルート併用実験（一部期間）、追越実験（一部期間）を実施し、制度導入3ヶ年における制度改訂の検討材料とした。

2. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

▽第17回審査部会：平成25年9月11日

- ・第30回協議会に向けて、利用適正化計画の改定の方向性・内容について議論した。
- ・登録引率者登録試験に向けた確認を行った。

●第 30 回協議会：平成 25 年 10 月 1 日

- ・利用適正化計画の改定スケジュールについて確認し、制度運用結果、実験結果等を共有した。
- ・利用適正化計画の改定について議論した。

▽第 18 回審査部会：平成 25 年 11 月 8 日

- ・第 31 回協議会に向けて、利用適正化計画の改定（案）を検討した。
- ・登録引率者登録試験結果の確認を行った。

●第 31 回協議会：平成 25 年 12 月 5 日

- ・利用適正化計画の改定について協議し、ヒグマ活動期における適正な範囲での利用者の増枠、限定的な 2 ルート併用が承認された。（別紙参照）

▽第 19 回審査部会：平成 26 年 1 月 16 日

- ・第 31 回協議会で承認された制度改訂（案）を踏まえて、具体的なツアー枠の設定について検討を行った。
- ・登録引率者のスキルアップや平成 26 年度の新規養成研修に係る検討を行った。

3. 知床五湖登録引率者に係るその他の事項

- ・10 月 31 日に登録引率者登録試験（筆記試験）を実施し、新規養成者を含めて 31 名が受験し、全員合格であった（うち、25 名は実地試験免除）。その後、実地試験を実施し、6 名中 5 名が合格であった。平成 25 年度試験の最終的な合否結果は 31 名中 30 名が合格となった。